

静岡県環境衛生科学研究所

静岡県の環境と県民の健康を守る



業務内容

静岡県環境衛生科学研究所は、環境と保健衛生の科学的・技術的中核機関として、静岡県の環境と県民の健康を守るための調査研究、試験検査、常時監視・測定などの業務に取り組むとともに、その成果・結果を広く情報発信しています。

調査研究

ファルマバレープロジェクトの一翼を担う創薬探索、富士山の水資源の有効活用、病原微生物の迅速検査法、医薬品・食品の新たな検査技術、大気・水質環境の保全対策などの重要課題のほか、県民生活に密着した課題、将来問題化することが予想される課題について、調査研究を行っています。

試験検査

保健衛生や消費生活関係の行政を支援するため、病原微生物、医薬品・食品、毒物劇物などの各種試験検査や商品テストを行っています。

常時監視・測定

静岡県の生活環境を守るため、大気、水質、騒音などについての常時監視や測定を行っています。

危機管理

新たな感染症や食品による健康被害、有害物質による大気汚染事故や河川・湖沼における水質汚濁事故など、健康や環境に対する危機事案が発生した場合には、県民の生命を守るため、高度な技術をいかした分析・解析を迅速に行っています。

研修指導

県民や市町・健康福祉センターの職員を対象に、科学的・技術的中核機関としての専門性をいかした環境、保健衛生、消費生活関係の研修や技術指導を行っています。

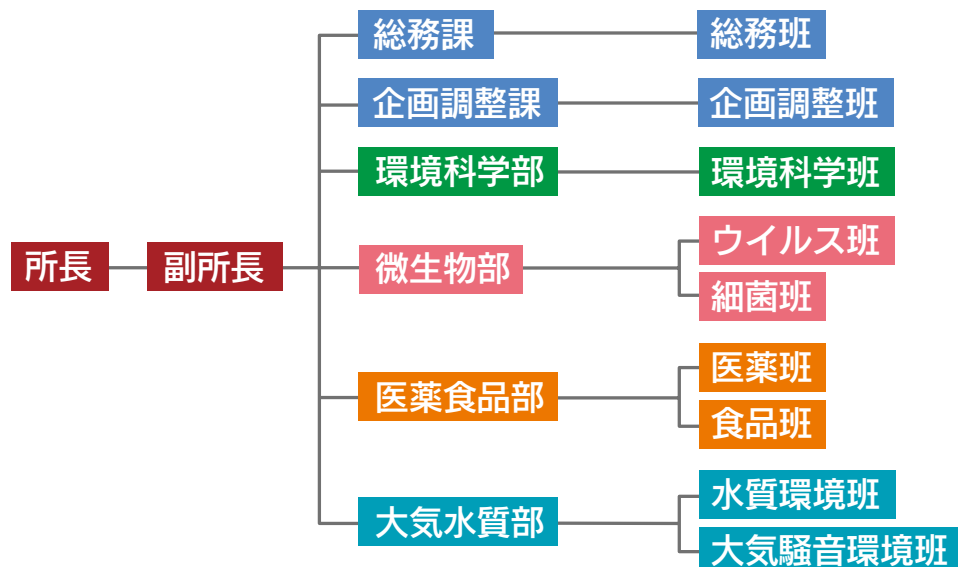
環境教育

持続可能な社会の構築に主体的に参画できる人づくりを目指して、環境保全に関する教育を行うとともに、環境教育を行う個人・団体の活動を支援しています。

情報発信

調査研究の成果、試験検査や常時監視・測定の結果などについて、学会、学術論文、業務研究発表会、インターネットのホームページなどを通じて、広く県民に情報提供しています。

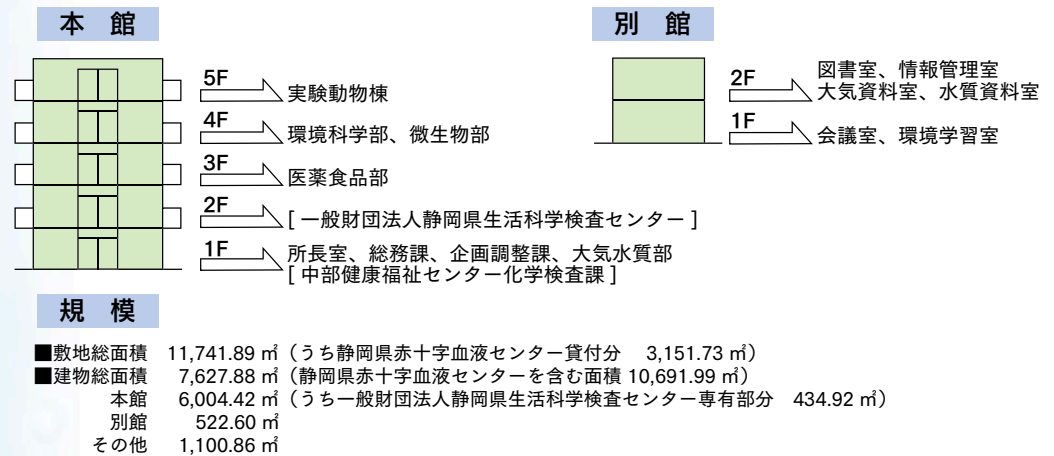
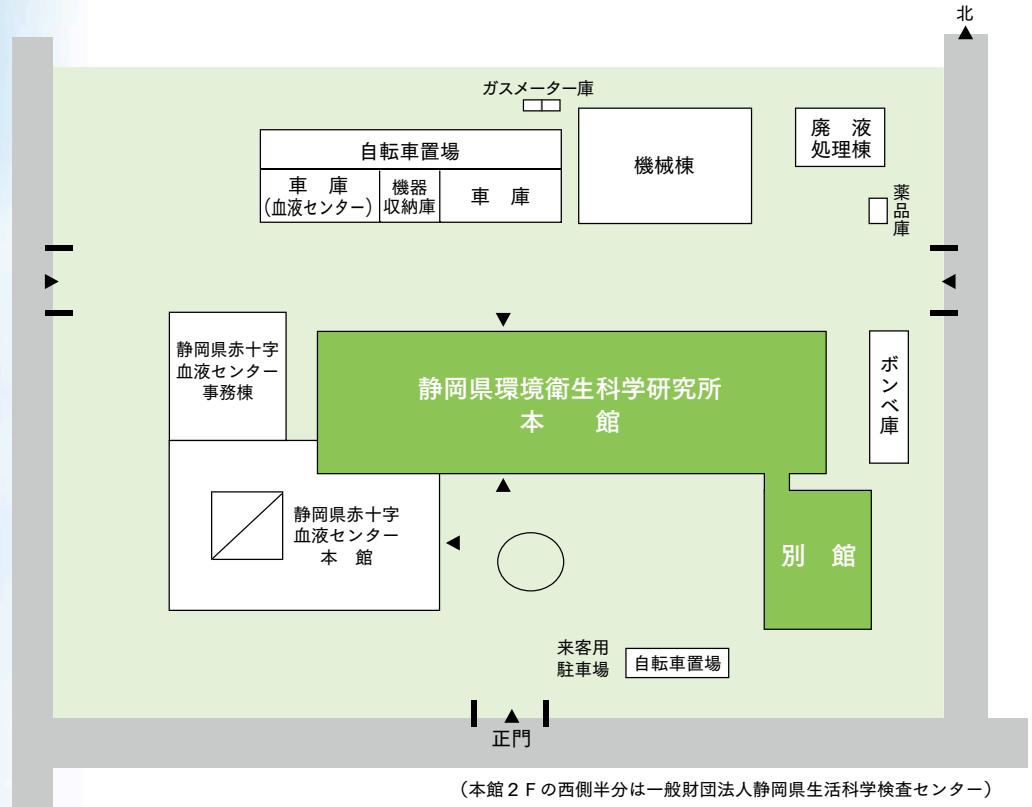
組織



施設概要

昭和 57 年 4 月 衛生研究所、公害防止センター及び中央消費生活センターのテスト部門を統合し、静岡県衛生環境センターとして発足

平成 9 年 4 月 静岡県環境衛生科学研究所に改称



総務課 総務班

- 研究所業務運営のための総括的業務
- 歳入・歳出経理事務及び財産管理業務
- 人事管理、安全衛生及び健康管理業務

企画調整課 企画調整班

- 調査研究の調整・推進業務
- 環境学習に対する支援及び環境学習室の運営業務
- 県内大学等との連携及び研究生の受入れ業務
- 研究業績等の広報業務
- 知的財産権取得・維持等の支援業務
- 競争的外部資金獲得の支援業務
- 医薬品・食品等の試験検査施設の信頼性保証・確保業務



建物外観

環境科学部

環境科学班

- 環境中にある微量化学物質に関する調査研究
- ゴルフ場使用農薬に係る排出水等の水質調査
- 化学物質環境実態調査（環境省委託）
- 港内における有機スズ（TBT・TPT）の調査
- 室内環境汚染物質の測定に関する研究
- 廃棄物最終処分場に関する研究
- 植物のストレス診断と環境モニタリングに関する研究
- グリーンカーテンの有用性に関する研究
- 外来種ヤンバルトサカヤスデの分布・生態調査

ワンポイント講座

『化学物質による環境等への影響』とは

化学物質の中には、生産、使用、廃棄等の過程で環境を汚染し、人の健康や生態系に直接悪影響を及ぼすものや、個々の物質の有害性は低くても、長期的には生物に影響を与えるものなどがあります。このような化学物質による環境汚染の未然防止を図るための調査研究を行っています。

- 富士山の水資源に関する調査研究
- 富士山の地下水・湧水を活用した地域エネルギーに関する調査研究

ワンポイント講座

21世紀は『水の世紀』

21世紀は「水の世紀」といわれており、地球規模で深刻な水不足が懸念されています。本県の特徴である豊富な水資源を未来に引き継ぐためにも、流域が一体となって水資源を保全しながら、バランスよく利用していくことが課題となります。

水資源を地域エネルギーに

近年、防災における対応や地球温暖化防止のため、地域ごとにエネルギーを作り、その地域内で使っていくとする、エネルギーの「地産地消」の考え方が広まっています。そこで、地下水が豊富で多くの湧水がみられる富士山地域において、地下水熱を活用したエアコンやマイクロ水力発電といった、新たな形態での地下水利用に関する調査研究を行っています。



海洋中の化学物質調査



オゾンの被害を受けたアサガオ



地下水観測井戸の温度調査



湧水量調査

微生物部

ウイルス班

- 食中毒、集団感染症発生時の病因ウイルス検査
- 感染症発生動向調査事業に基づくウイルス・リケッチア検査
- 流行予測調査事業に基づく調査（インフルエンザ・麻疹）
- 感染症情報センターとして感染症発生情報の提供
- ノロウイルス集団食中毒事例の被害拡大要因に関する研究
- 抗インフルエンザ薬に対する薬剤耐性株の出現状況に関する調査研究

ワンポイント講座

ノロウイルスの検査法

ノロウイルスは、通常のウイルスのように培養細胞や実験動物を用いて人工的にウイルスを感染させることはできません。そのため、臨床検体のノロウイルス検査は、電子顕微鏡でウイルス粒子を観察する方法、ウイルス表面の抗原を検出する方法などがありますが、ウイルス班では、検出感度と特異性が高く、ウイルスの定量が可能なリアルタイム PCR 法により遺伝子の検査を行っています。



電子顕微鏡によるウイルス検査



リアルタイム PCR 法によるウイルス検査

細菌班

- 食中毒・感染症の原因細菌（O157、結核菌等）の検査
- 感染症発生動向調査事業に基づく細菌・寄生虫検査
- 食品の規格基準に関する検査
- 食品中のアレルギー物質に関する検査
- 医薬品・医療機器等の微生物学検査
- 食中毒起因菌の検査法に関する研究
- 寄生虫性食中毒（クドア等）の検査及び調査研究
- 薬剤耐性菌の検査及び調査研究
- 環境水（温泉等）の病原微生物（レジオネラ属菌等）の検査及び調査研究

ワンポイント講座

『食品の規格基準の検査』とは

食品や添加物には、安全であるために成分規格が定められているものがあり、基準に合わない食品は製造、販売等が禁止されています。細菌班では、県内に流通している食品について残留動物用医薬品や遺伝子組換え食品などの検査を行い、安全な食の確保に努めています。



病原細菌の分離培養検査



遺伝子組換え食品検査

医薬食品部

医薬班

- 医薬品等の理化学的試験検査及び調査研究
- 医薬品製造販売業者等を対象とした医薬品等品質管理研修
- 無承認無許可医薬品、指定薬物等の違法薬物の検査
- 静岡化合物ライブラリーの管理
- 共同研究機関等への化合物提供
- 医薬品候補化合物の有機合成と構造最適化

ワンポイント講座

『医薬品等品質管理研修』とは…

静岡県は、医薬品や医療機器の生産額が全国トップクラスであり、医療産業は本県の重要な産業の一つになっています。医薬班では、医薬品製造販売業者等の品質管理担当者の品質管理技術の向上を図ることを目的に、研修を実施しています。

静岡県発の医薬品の開発を目指す

静岡県発の医薬品の開発によって、「静岡県を世界一の健康長寿県にする」という目標に貢献できるよう、ファルマバレープロジェクトの一翼を担う創薬探索研究に取り組んでいます。



医薬品の溶出試験



医薬品候補化合物の有機合成

食品班

- 農畜水産物(国産・輸入)中の残留農薬等の試験検査及び調査研究
- 発ガン性カビ毒や魚介類中の有害金属の分析調査
- 話題となっている商品や苦情の多い商品のテスト
- 消費者グループや親子を対象にした商品テスト実習講座

ワンポイント講座

食品の安全性確保のために…

食品班では、ポジティブリスト制度(農薬等が一定量以上含まれる食品の流通を原則禁止する制度)に対応した体制で、県内に流通する食品中の残留農薬等の検査を実施しています。さらに、これらの検査をより迅速・正確に実施するため、新たな試験法の研究開発や試験法の妥当性検証に取り組んでいます。

賢い消費者になりましょう!

商品テスト実習講座では、実験を通して身の回りの様々な商品に対する関心を高めてもらうことで、「自ら学び自立する消費者」の育成を目指しています。また、科学的な専門知識が必要な消費生活相談に関する情報提供を行っています。



農産物中の残留農薬検査



親子を対象にした商品テスト実習講座

大気水質部

水質環境班

- 公共用水域の水質の常時監視及び調査研究
- 地下水の水質の常時監視及び調査研究
- ダイオキシン類に関する環境の監視

ワンポイント講座

『公共用水域』とは…

誰もが自由に入出入りできる川、湖、海の水域で、農業用水路なども含まれます。

この公共用水域の水質を良好な状態に保ち、水の利用に支障が起らないよう監視や調査を行っています。

『ダイオキシン類』とは…

環境中に広く存在する微量な化学物質で、二百数十種類の物質の総称です。このうち発がん性などの毒性があるといわれているのは29種類で、ごみ焼却などの燃焼行為や、一部の塩素・臭素系農薬の不純物、火山活動などでも発生するといわれています。



環境水質調査



ダイオキシン類底質調査

大気騒音環境班

- テレメータシステムによる大気環境の常時監視及び調査研究
- 有害大気汚染物質の環境測定及び調査研究
- 騒音・振動の監視及び調査研究
- 騒音・振動及び悪臭防止の技術の普及指導
- アスベスト（大気）に関する環境の監視
- 酸性雨の測定及び調査研究

ワンポイント講座

『光化学オキシダント』とは…

工場の煙や自動車排出ガスなどに含まれている窒素酸化物や炭化水素が、大気中で強い太陽光線を受け、光化学反応を起こすことによって発生する有害な物質のことです。濃度が高い場合は、目やのどが痛くなったり、植物が被害を受けることもあります。

『微小粒子状物質 (PM2.5)』とは…

PM2.5は直径が2.5 μ m以下の粒子の総称で、髪の毛の太さ約80 μ mや花粉の粒子約30 μ mと比較しても非常に小さいため、肺の奥（肺胞）まで侵入し蓄積され、呼吸器疾患や循環器疾患などを起こしやすいと考えられています。



新幹線鉄道騒音調査



大気環境測定車による測定とPM2.5調査

EPSの取組

静岡県環境衛生科学研究所では、職員が環境保全の重要性を認識し、静岡県の良好な環境の保全に率先して貢献するため、独自の環境マネジメントシステム（EPS：Environmental Promotion System）を推進しています。

具体的には、研究所の事業活動（調査研究、各種試験検査等）に伴って生ずる環境負荷を低減するため、EPS推進委員会等の管理体制を構築した上で、以下のプログラムに全職員が継続的に取り組んでいます。

省資源・省エネルギーの推進

電力、空調用都市ガス、水、紙の使用量を削減するため、大容量分析機器の節電使用、冷暖房温度の上下限の設定などに取り組んでいます。

また、LED照明などの省エネルギー設備の導入を進めるとともに、太陽光発電の導入、グリーンカーテンの設置など自然エネルギーの有効活用に取り組んでいます。

廃棄物の削減

廃棄物の排出量を削減するため、分別収集の徹底、保管場所ごと・分別した廃棄物ごとの排出量の把握に取り組んでいます。

緊急時の環境汚染防止

緊急時における大気汚染その他の環境汚染を防止するため、火災や地震の発生時における化学薬品の落下防止、ガスボンベの転倒防止、有機溶媒等の燃焼防止のための点検・訓練を行っています。

環境教育の推進

県民の環境保全への意識啓発を図るため、環境教育に関する出前講座、環境学習資器材の貸出、「県民の日」、「富士山の日」等における施設公開を行っています。



太陽光発電設備



環境学習室



「県民の日」施設公開

ご案内

静岡県環境衛生科学研究所

〒420-8637 静岡市葵区北安東4丁目27番2号
電話(054)245-0201(代表) FAX(054)245-7636
E-mail:kanki@pref.shizuoka.lg.jp
ホームページ:http://www6.shizuokanet.ne.jp/eikanctr/

◎交通/JR静岡駅下車

バス路線

- 5番のりば：上足洗線・北安東4丁目下車、徒歩1分
- 10番のりば：県立総合病院線・県立総合病院下車、徒歩3分
- 16番のりば：大浜麻機線・北安東3丁目下車、徒歩5分

